



### 《担当講義》

- 日本の文化と歴史I
- 西洋史
- 言語文化情報解析
- 言語文化論
- 言語情報特論(大学院)

### 《研究テーマ》

- 19世紀ドイツ文学
- ドイツ語情報処理

### 《サークル顧問》

- 剣道部

### 《プロフィール》

- 出身県:福井県
- 血液型:A型
- 星座:てんびん座
- 好きな言葉:  
左のページを見て!

### 《主な履歴》

- 大学院を出てからすぐに理大に就職、理大一筋です。

—先生の研究テーマやその面白さと言えは何でしょうか？

僕は19世紀のドイツ文学について、主にテオドア・シュトルム論について研究しています。シュトルムの小説に入り込んでいくことがとても面白いですよ。また、最近では語学文学理解にパソコンがいかに支援できるかについても研究しています。パソコンと言語を絡めたプログラムを作り、それが動いていくのが面白いですね。

—ゼミ生にパソコンを組み立てたことがあると伺いました

が、よくされるのですか？  
ゼミでの組み立てはあれが初めてですね。最近ではSEになる人もいるので役立てればと思いいました。また、最近のパソコンにはWindowsが既にインストールされていることもありますが、そこにリナックスを入れていることもあります。以前それでWindowsが飛んでしまったこともありましたが……でも楽しいです(笑)。

—先生はリナックス派だと伺ったのですが……  
リナックスは自分で使いこなす楽しみがあります。基本は

を感じて選びました。

## パソコンや地域言語を研究、優しい先生

もともとパソコン関係のゼミを希望していました。プログラムの研究がしたかったのです。悩んでいました時に西野先生の講義でC言語やPerlを体験しました。ドイツ語はあまりよくわからなかったのですが、すごく面白みを感じて選びました。

西野先生は優しい先生です。西野ゼミで楽しいことは、やっぱりプログラムを作ることですね。動いたときにはやりがいを感じます。また、西野ゼミではパソコン作りもしたことがあるのですが、われわれが作ったパソコンが発でちゃんど動作してくれたときは何物にも変えられない喜びでした。

西野ゼミはこのような、主にパソコンや地域言語についての研究を行っているところですね。パソコンやプログラミングに興味のある人、方言に興味のある人には面白いところだと思えますよ。(ゼミ生 後藤拓也、10年3月卒)

## 語学文学理解にパソコン支援

な学生だったのでしょうか？

うーん。どうでしょう(苦笑)。学生時代に剣道をしていて寒稽古は厳しかったので大体出来ていたのではないかと思います。でも、看護学校で授業をしていたときばかりは生徒が女性ばかりだったので緊張しすぎて大人しくなっていました(笑)。

—ところで、先生の宝物は何ですか？

僕の宝物はなんといっても家族ですね。僕の家にはカミさんと子供が3人、子供たちはそ

れぞれ家庭を持って出て行きました。今では孫たちも宝物です。あと犬のマルチーズもわが子同然に可愛がっていました。昨年、あの世に行きました。悲しいことでした。

—休日は何をされておられますか？

大学だけではなく家の近くの小中学校の剣道の試合を見に行ったり、家の近くにある温泉でゆったりしていますね。

—先生にとつての岡山とは、どのように思われますか？

僕が岡山に来たのは1973年ですので、来てから長いもので40年以上はたっています。岡山は雪が降らないのが良いですね。僕もカミさんも雪国の出身。子供の頃は雪がたくさん積りました。雪に埋もれての生活が当たり前と思っていました。岡山の冬の生活は本当に楽ですね。

—お勧めの本がありましたら、教えてください。

「若きウエルテルの悩み」です。女性に憧れるが婚約者がいてどうにもならない。でも、遊びに行ったり……実ることのない恋の話です。青春真っ盛りな皆さんも参考に読んでみてくだ